フォーラムセミナー2026 冬（オンライン）

その安全は、誰のため？

―「守る」ことから、その人の「よりよく生きる」を考える―

2026年
12月4日(金)
オンライン開催

フォーラム2027は
2月6日(土)に
現場で皆さんと
お会いできます！



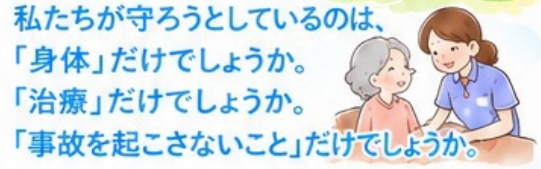
一人ひとりの
「よりよく生きる」を支えるために、
私たちの「安全」を
問い直してみませんか。

動きたいときに、無理に「やめて」と言っていませんか？
安心して動けることと、事故を防ぐこと。どちらが大切？

食べたい・話したいときに、胃管を守ることを
優先していませんか？
本人の思いと、栄養や治療の安全、どう両立する？

在宅での生活の中で起こるヒヤリや困りごと。
「事故を起こさせないこと」だけが、本当にその人のため？

では、その人の「自分らしく生きること」は、
誰が、どう守るのでしょうか。



私たちが守ろうとしているのは、
「身体」だけでしょうか。
「治療」だけでしょうか。
「事故を起こさないこと」だけでしょうか。

**尊厳と安全、その両方を守るために、
私たちは何を選び、何を諦め、
何を工夫できるのか。**

日時
2026年
12月4日(金)
19:00～20:00(60分)

方法
Zoom（オンライン開催）
お申し込みいただいた方に
後日URLをお送りします。

参加費
無料（事前申込制）

対象
フォーラム参加施設の
職員の皆さま（多職種）

看護 リハビリ 介護 医師 管理者 など

※職種は問いません。どなたでもご参加いただけます。

プログラム（60分）

5分 1. 冒頭 5分
- 診療報酬改定の動向
- フォーラムが身体拘束最小化に取り組んできた経緯の共有

8分 2. 過去2年の議論の要約プレゼン
- 意思決定・多職種連携などの取組みの振り返り（内容の要約）

35分 3. グループディスカッション
- 多職種混合でのグループディスカッション。職種で分けず、本音や葛藤（「ほんまはこうしたいのにできない」）を語る場づくり。

10分 4. 全体共有と着地点の統一
- 施設や立場を超えた対話の重要性

この時間セミナーで「問い」を持ち帰る
- 私たちの「安全」を見つめ直す
- 実際の声の悩みや工夫を共有する
- 次につなぐヒントを見つける

参加申し込み期限
2026年11月20日(金)



現場で
みなさんと
お会いできることを
楽しみにして
います！

お申し込み・お問い合わせ
洛和会音羽リハビリテーション病院
担当：看護部　川井倫子（代表）075-581-6221
✉：kawai-michiko@rakuwa.or.jp

申込フォーム
https://x.gd/wGzSb

主催・企画・運営：京都リハビリテーション医療・介護フォーラム